

# 令和4年冬～夏湯水 早明浦ダムと取水制限の効果について ～過去最長215日間の取水制限により早明浦ダムの枯渇回避～

## ◆8ヶ月間継続した記録的な少雨

・吉野川上流域（池田地点上流）の降水量は、本年1月より8ヶ月間連続して平年値を下回り、この間の総降水量も平年値の6割に満たない記録的な少雨。

## ◆過去最長の取水制限

・早明浦ダム管理開始（昭和50年）以来最長となる215日間に及ぶ取水制限を実施。

## ◆早明浦ダムと取水制限の効果

- ・池田地点の自然流量は、必要となる流量の約2割程度まで減少。
- ・仮に取水制限を実施しなかった場合、6月11日に利水確保率が0%になり、その後、9月までの間で約1ヶ月間、ダムからの利水補給が困難な状況に至ったと推測。
- ・取水制限期間中も早明浦ダムから約1.5億立方メートル（※）の利水補給を実施し、都市用水をはじめとする各種用水に必要な水量を安定的に確保。 ※約35万世帯（1世帯当り4人家族：300L/人・日と想定）の1年間分の生活用水に必要な量。



早明浦ダム左岸展望台からの写真（左：貯水率低下時、右：満水時）

令和4年10月25日  
吉野川水系水利用連絡協議会 事務局

問い合わせ先（★：主な問い合わせ先）

国土交通省四国地方整備局河川部

水政課長 白土 晶通（内線：3551）

★水政課長補佐 榎谷 英範（内線：3552）

TEL 087(811)8316(水政課)

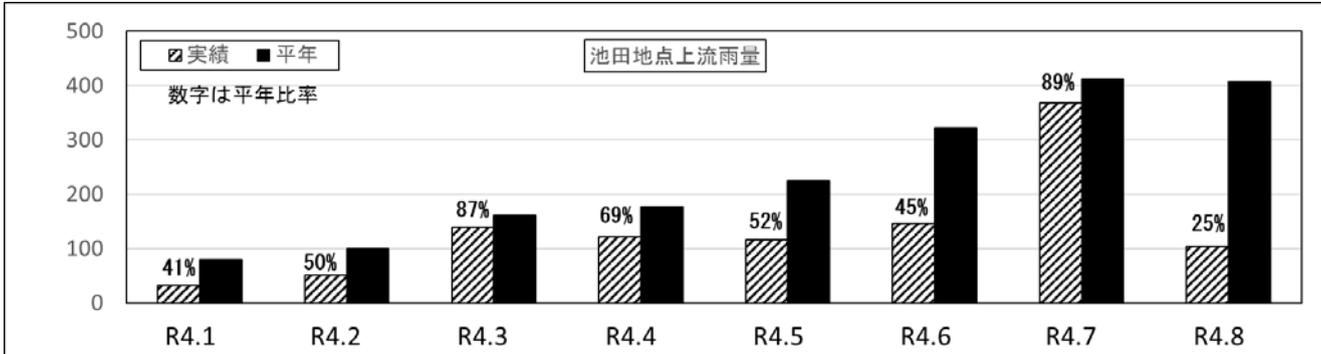
河川管理課長 柳 忠和（内線：3751）

★河川管理課長補佐 富永 剛史（内線：3755）

TEL 087(811)8320(河川管理課)

### 1. 8ヶ月連続して平年を下回る記録的な少雨

- 吉野川上流域（池田地点上流）では、本年1月より8月までの8ヶ月間、連続して流域平均雨量が平年を下回る記録的な少雨となりました。
- この間の総降水量も平年値の約6割を下回り、本年1月以降、早明浦ダムの利水確保率が回復することなく夏まで渇水が継続する状態となり、早明浦ダムの利水確保量が枯渇した平成17年以来、降水量が2番目に少ない厳しい渇水となりました。



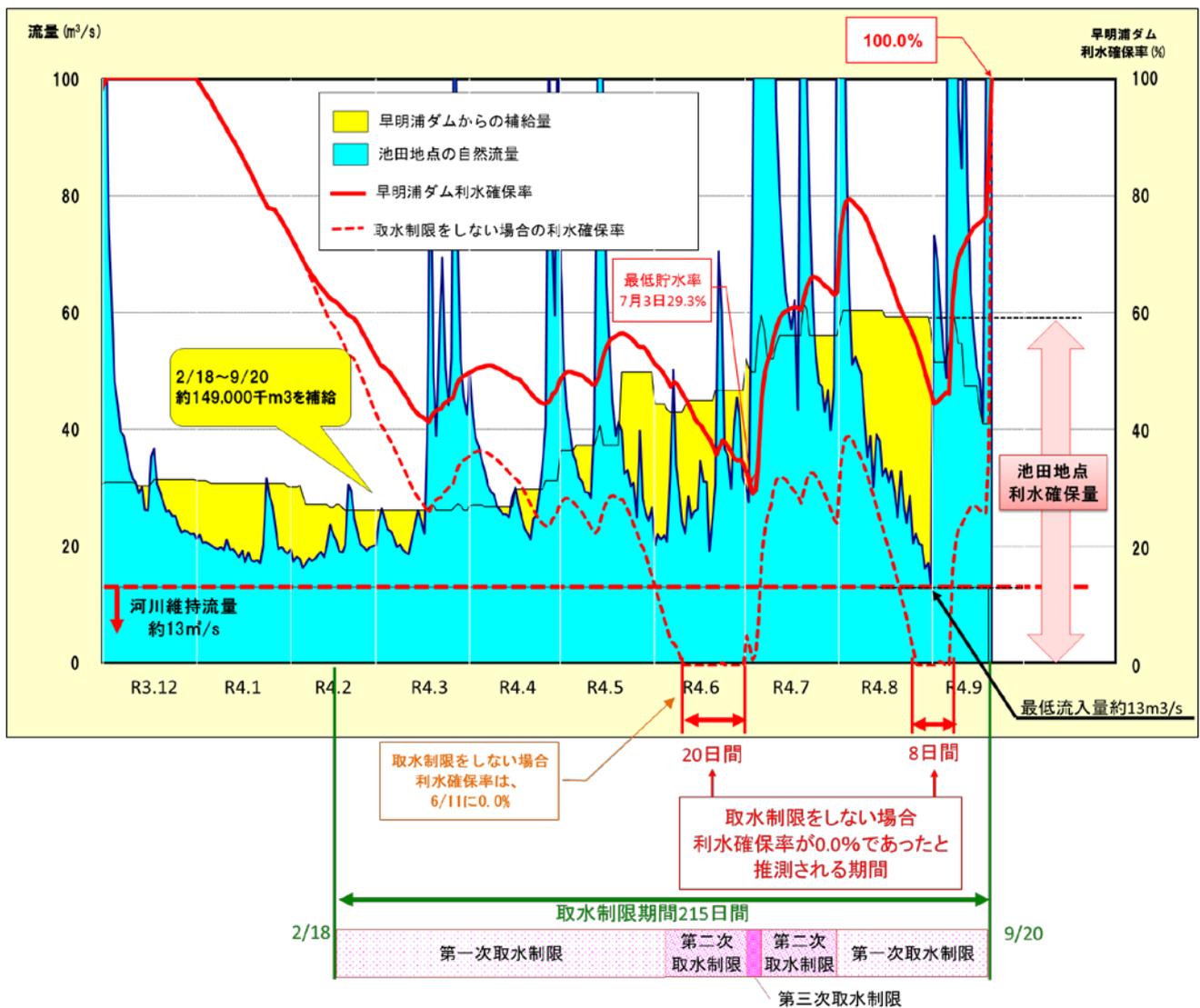
池田地点上流域の降水量の平年値との比較（令和4年1月～8月）

### 2. 早明浦ダムと取水制限の効果

- 平年を下回る降水量が長期間続く中、吉野川の渇水調整を行い、早明浦ダム管理開始（昭和50年）以来最長となる連続215日間の取水制限により、池田地点の安定的な水利用の確保と早明浦ダムの枯渇回避に努めました。（取水制限期間：2月18日～9月20日の215日間）
- 取水制限期間中、池田地点の自然流量が一番減少した時は、必要となる流量の約2割程度（約1.3m<sup>3</sup>/s）まで減少しており、早明浦ダムがなければ河川維持流量（河川環境維持に必要な流量）しか流れず、都市用水をはじめとする各種用水は取水できない状況でした。
- 仮に取水制限を実施しなかった場合、6月11日には利水確保率が0パーセントになり、9月までの間で計28日間もの長期間、早明浦ダムから吉野川への利水補給が全くできない危機的な状況であったと思われます。
- この間、早明浦ダムから約1.5億立方メートルの水量を吉野川に補給し、池田地点で必要となる流量を安定的に確保することにより、水利用面での社会的影響回避に加え、自然の生態系を含む吉野川の自然環境全般に極めて大きな効果を発揮したと思われます。



吉野川流域図及び香川用水位置図



池田地点の自然流量と早明浦ダムからの補給量

### 3. 今後の取組

吉野川水系水利用連絡協議会では、本渇水の経験を活かし、より効率的な水利用を行うために、関係機関と更に連携を強化し渇水タイムラインなどの見直しを進めてまいります。

#### 【参考】

令和4年冬～夏の早明浦ダムの取水制限率（新規用水分）について  
（吉野川水系水利用連絡協議会決定）

- ・ 非かんがい期 10月11日～ 5月20日まで
- ・ かんがい期 5月21日～10月10日まで

取水制限段階	非かんがい期		かんがい期	
	早明浦ダムの 取水制限開始 貯水率(%)	池田ダム地点の 取水制限率(%) (新規用水)	早明浦ダムの 取水制限開始 貯水率(%)	池田ダム地点の 取水制限率(%) (新規用水)
第一次	50	20	60	20
第二次	30	30	45	35
第三次	-	-	30	50